

☆「紅い雫」の栽培ポイント☆

1 頂果房に優良な花を多くつける定植前後の管理！

①充実した大苗を定植する

「紅い雫」は花数が少ないため、クラウン径10mm以上の大苗を目指す

- クラウン径の大きな苗ほど頂果房の花数が増える（目標13～15花）
- 極端に肥切れさせない（定植後の活着不良や花数減少を回避）



②適期定植する

「紅い雫」の花芽分化時期は9月10日前後、定植適期は9月10日～15日

- 定植が遅れると、過度の肥切れにつながる
- 定植が早すぎると、高温期に果実肥大するために頂果房が小玉になる



寒冷紗被覆

「紅い雫」の定植から第1次腋果房収穫までの管理など

| 月 | 旬 | 頂果房 | 第1次腋果房 | 管理 | 温度管理 | |
|----|---|------|--------|--------------------------------|-----------|--------|
| | | | | | 昼温 | 夜温 |
| 9 | 上 | 花芽分化 | | 寒冷紗被覆 | できるだけ低く管理 | |
| | 中 | 定植適期 | | 定植(9/10～9/15) | | |
| | 下 | | | ※定植後は、こまめにかん水 寒冷紗除去(気象に応じて) | | |
| 10 | 上 | | 花芽分化 | ビニール被覆(10/25頃～) | 20～23℃ | 10～15℃ |
| | 中 | 開花始め | | | | |
| | 下 | | | | | |
| 11 | 上 | | 収穫開始 | 電照開始(11/10頃～) | 25～28℃ | 5～8℃ |
| | 中 | | | | | |
| | 下 | | | | | |
| 12 | 上 | | 開花始め | | 25～28℃ | 5～8℃ |
| | 中 | | | | | |
| | 下 | | | | | |
| 1 | 上 | | 収穫開始 | | 25～28℃ | 5～8℃ |
| | 中 | | | | | |
| | 下 | | | | | |

③定植後の活着を促進する

高温期に着実に活着するための「かん水」と「遮光」

- 定植後は十分にかん水する
- 定植1週間前から活着するまで寒冷紗を被覆し、地温の低下を図る

④活着後の肥効を高め、株の充実を図る

「紅い雫」は花数が少なく、草勢はやや弱い。「あまおとめ」より多めに施肥し、根張り株の充実を図る

- 増肥によるチップバーンや乱形果の発生、第1次腋果房の遅れは少ない。
- 高設栽培の給液ECは、「あまおとめ」指針(次ページ)より0.2～0.3高めで管理

2 頂果房の果実肥大を図り、大玉を生産！

①高温による小玉化を防ぐ

11月中旬までは昼温を低めに管理し、成熟日数(30～35日)を確保

- 高温条件では果実の成熟日数が短くなり、玉太りが劣る



○夜温の低くなる 11 月下旬以降は昼温を高めにし、夜温を確保

| | 昼温 | 夜温 | 成熟日数 |
|---------------|--------|--------|---------|
| 10 月中旬～11 月中旬 | 20～23℃ | 10～15℃ | 30～35 日 |
| 11 月下旬～12 月下旬 | 25～28℃ | 5～8℃ | 35～40 日 |
| 1 月上旬～2 月下旬 | 25～28℃ | 5～8℃ | 40～45 日 |

3 第1腋果房が安定して開花すれば、2月の収量は確保できる！

①花芽分化の遅延を防ぐ

花芽分化までの9月中旬～10月中旬の昼温は、できるだけ低く管理

○秋の気温が高い場合には、寒冷紗を被覆する

②展葉速度を維持し連続出蕾させる

展葉速度が遅いと開花・収穫始めが遅れるため、草勢を維持

○温度確保（昼温 25～28℃、夜温 5～8℃）

○電照管理（2～3時間）

○新葉の葉色が濃く、展葉速度が遅くなったら、夜温を2～3℃高め、電照時間を長くする



電照管理

表 高設栽培における‘あまおとめ’の給液管理

| 月旬 | 生育段階等 | 給液EC | 給液回数 | その他 |
|--------|------------------------------------|------|------------------|----------------------------|
| 9 中下 | 定植 活着促進 | 0.50 | 10分・4回 10分・3回 | 葉水励行 (10日程) |
| 10 上中下 | 頂果房出蕾期 頂果房開花期 第1次腋果房分化期 | 0.65 | 8分・3回 | |
| 11 上中下 | 頂果房収穫開始 | 0.80 | 6分・3回 | 電照開始 (11月10日) 草高35cm |
| 12 上中下 | 第1次腋果房出蕾期 頂果房収穫最盛期 第1次腋果房開花期 | 0.90 | 5分・3回 | 温度管理 最低8℃ 換気28℃ |
| 1 上中下 | 第2次腋果房 出蕾期 | 0.90 | 5分・3回 | 17～21時 夜温確保 |
| 2 上中下 | 第1次腋果房収穫開始 第2次腋果房 開花期 | 0.90 | 5分・3回 | 17～21時 夜温確保 |
| 3 上中下 | 第2次腋果房収穫開始 | 0.80 | 6分・3回 | 電照終了 (3月上旬) 換気23℃ |
| 4 上中下 | | 0.75 | 10分・3回 | 葉かぎ 遮光 |



(注) 給液回数は愛媛農試方式高設栽培で算出、生育段階は9月16日定植

平成 26 年 10 月
農林水産研究所